

大分県立総合文化センター・大分県立美術館 将来ビジョン

施設の今後のあり方

**存続
(利活用)**

理由

大分県における芸術文化の拠点 ～出会いと融合、そしてネットワーク～

●芸術文化ゾーンとして、多様な芸術文化の融合や新たな価値を創造する場

目指すべき施設像

- ・質の高い、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供
- ・県民に芸術文化活動の発表や異なるジャンルの交流の場を提供
- ・豊かな感性や創造性を育む場
- ・県内芸術文化活動について地域の施設に主導的役割を發揮

目指すべき利用者像

男女・年齢を問わず幅広い層の県民及び観光客

【ターゲット】

- ・芸術文化に関心を持つ層が厚い40～60代女性
- ・「将来のリピーターとなる子ども」を連れてくる母親世代・家族連れ 等

定量的目標達成指標

		(直近3年平均値)
①総合文化センターホール年間利用率の維持	87%	(72%)
②県立美術館 年間来館者数の維持	50万人	(45万人)
③来場者満足度の維持	90%	(91%)
④施設利用者満足度の維持	90%	(89%)

定性的目標達成指標

- ①多彩で魅力的な公演・企画展の開催
- ②積極的なアウトリーチ活動による芸術文化の発信

主な課題と解決策

【課題① 人口減少・少子高齢化に関する課題】

人口減少・少子高齢化の進行

●芸術文化を支える基盤の脆弱化

- ・活動を担ってきた地域社会の衰退
- ・芸術文化の担い手の不足

解決策

- ①県民ニーズを捉えたラインナップ構築による両館の魅力向上
- ②普及啓発事業の充実による新たなファン層の拡大
- ③芸術文化体験プログラム等の構築・実施による次代を担う人材の育成
- ④文化観光拠点施設としての機能強化による国内外からの観光誘客の促進

【課題② 施設管理に関する課題】

安全性・クオリティ・コストの最適化

- 耐震性の強化
- 利用者の満足度向上
- 両館一体となった効率的な施設管理

解決策

- ①特定天井の耐震性強化工事による安全性の確保
- ②利用者ニーズを踏まえた施設・備品等の改善
- ③ネーミングライツによる外部資金獲得の促進及び固定経費のさらなる節減努力